

带状疱疹ってどんな病気？

平成30年2月放送

坂井 秀彰

带状疱疹は神経痛に似たピリピリした痛みがあり、神経に沿って赤い斑点や小さな水ぶくれが帯状に生じる病気です。带状疱疹は水痘带状疱疹ウイルスにより起こる感染症で、通常は生涯に一度だけ発症し、免疫力が低下する病気を持つ人以外は再発することは稀です。水痘带状疱疹ウイルスに初めて感染すると水ぼうそうとして発症しますが、水ぼうそうが治った後もウイルスは神経細胞に潜んでいます。加齢やストレス、過労などが引き金になってウイルスに対する抵抗力が低下したときにウイルスが再び活動を開始して带状疱疹を発症します。50歳代から70歳代に多くみられますが、若い人に生じることも珍しくありません。带状疱疹は通常左右どちらか片方の神経に沿って現れることが特徴です。初期から神経痛に似たピリピリした痛みがみられますが、痛みの程度は人によって様々で、一般的には若い人は軽く、高齢者は強い傾向があります。



痛みのために夜も眠れないという重症の人もあります。

多くは痛みやや遅れて皮膚症状が出てきます。虫刺されのような、やや腫れた赤い発疹が出現して次第に小さい水ぶくれがでてきます。皮膚症状は神経の走行にそって帯状に並んで出ます。発症して2~3週間で痛みや皮膚症状は治ってしまうことが多いですが、人

によっては痛みが残ることがあります。带状疱疹後神経痛といい、長期間痛み悩まされる方もいます。

带状疱疹後神経痛は、皮膚症状が重症で、痛みが強いなどの症状のある60歳以上の高齢の方に残る可能性が高いため注意が必要です。また顔の带状疱疹の場合にまれに顔面神経麻痺や難聴、角膜炎や結膜炎などの合併症がみられるこ

とがあり、特に注意が必要です。帯状疱疹の治療のポイントは急性期の痛みや皮膚症状をできるだけ速やかに改善させることです。そのために皮膚症状が現れてからできるだけ早い時期、できれば数日以内にウイルスの増殖を抑える抗ウイルス剤を使用すると最も効果的です。また帯状疱疹は疲労やストレスが原因となり免疫力が低下したときに生じることが多く、十分な休養をとり、規則正しい食事をするようにします。アルコールは痛みを増強することがあるので、控えた方が良いでしょう。水ぶくれが破れてただれているとき以外は、入浴は構いません。温めることで神経痛を和らげることができます。帯状疱疹が他の人にうつることはありませんが、水ぼうそうに罹ったことがない乳幼児には水ぼうそうを発症させる可能性があり、小さな子供との接触は控えましょう。

帯状疱疹は早期に適切な治療を行うことで急性期の症状を軽くし、合併症や後遺症である帯状疱疹後神経痛のリスクを減らすことができます。

帯状疱疹かなと思ったら、早めに医師にご相談ください。